



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 71

久遠塾 ☎ 090-3489-2754 13:00~20:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

久遠塾でサポートを行った就職者の高橋さんを紹介します

■高橋柊羽さん

大塚食品株式会社釧路工場内定

私が現在の進路先を決めたのは、高校3年生の夏でした。それまでは、進路について、いろいろ悩んでいましたが、まずは自分が本当にやりたいことは何かをじっくり考えました。そして、自分の適性や性格なども考慮した上で、工場勤務が向いているのではないかという思いに至り、家族や周囲の人の意見も参考にした結果、大塚食品株式会社釧路工場の入社試験を受けることに決めました。

その後は、就職試験対策として、高校の先生や久遠塾の先生と模擬面接の練習などに取り組みました。

最初は思うように答えることができず、とても苦労しましたが、模擬面接を重ねるごとに、自分の気持ちや考えを整理し、具体的なエピソードも交え、自信を持って話すことができるようになりました。

私は部活動や学校生活を通して、自分が入社した場合、会社や地域にどのような貢献ができるかを具体的に伝えるように心がけ、自己PRにおいても繰り返し練習の中で、自分の強みは「集中力と根気強さ」であることに気づき、それを実際の体験に結びつけて話せるようになりました。

模擬面接のほかに、久遠塾では一般常識対策講習を受講しました。内容は、中学校までに習う国語・数学・英語の問題演習で、基本的な問題ではありますが、忘れていたことも多く、確認する意味で大変助かりました。

私が進路先をどこにするかを決める段階から、内定をいただくまでの過程と経験は、今後の人生においても役に立つと思っています。

以上が高橋さんの取り組みと所感です。

令和6年度の就職希望者は例年より多く、卒業生18人中15人でした。

久遠塾では、公務員試験対策講習の他、筆記試験が課される民間企業の試験対策も行っています。

大塚食品株式会社釧路工場の求人票の選考方法に一般常識問題の記載があったため、この対策を行いました。一般常識問題があるのは、社会に出るにあたり、最低限度の知識があることが大前提と考える企業が多いためです。なぜなら、国語や数学、英語など、中学校までに学習した内容が、社会人になった時も役立つことが多々あるからです。例えば、売上や利益金額の計算やお客様にメールを送る時の文面などは、学校で学習したこと応用なのです。英語についても、グローバル化に伴い、一般常識として重視する企業が増えています。

これらを「就職試験対策講習」一般常識(国語・数学・英語)として冊子にまとめて指導しました。

春期講習を実施しました

春季休業中の3月25日から4月7

日までの期間、春期講習を実施しました。

新3年生にとっては、新学期を迎える前に苦手な分野を確認し、それを克服すべく努力することで、スムーズに受験生としての学習をスタートさせることが目的でした。

実施した講座と参加者数は、公務員試験対策に3人、看護専門学校試験対策に2人、大学入試対策に2人と少人数でしたが、春休みを返上して受験対策に取り組んでいました。

講座に参加した生徒からは「新学期が始まるまで、のんびりしがちなところを講習に集中して取り組んだことで、受験生としての自覚が芽生えました」と感想を聞きました。



公務員試験対策講座の「判断推理」演習です。まずは解き方を理解するところから始めます。